

第四回世界佛教フォーラム

於 無錫

則 竹 秀 南

太湖は悠久の水を湛えて対岸が見えない程広大で、波静かに紺碧の秋晴れの好天候の毎



日がつづいている。第四回世界仏教徒フォーラムが無錫祥符寺で開催された。今回も中国仏教協会、中国国家宗教局より早々に招待状をうけて参加することになった。二十二日早朝六時出発、名古屋へ。

中部国際空港よりMU二六九二便十時三

十分発にて上海へ。久方ぶりの名古屋発となる。十二時前に上海空港に到着。タラップを降りると佛教協会スタッフが迎えて、特別バスにて貴賓室へ案内される。無錫観光局の湯副局長が出迎え、休息茶礼、花束贈呈があり、一時すぎ配車あり一路無錫へと移動す。途中トイレ休憩一回で四時頃に無錫陽光大酒店へ到着。張琳副秘書長出迎え、部屋にて種々打合せ。相国寺承天閣での書画展、黒柿展のポスター二百枚持参分を渡す。明日は植樹祭があり、その近辺に今回記念して一戸建ての拈花湾という町づくりをしたとの話を聞く。夕食をレストランですませて外に出ると、夕方の太湖の静かさ、天然の風光の趣、格別有り。

七時すぎ、祥符寺住持無相長老との相見が出来るとの知らせで、車にて約十分薄暗い夜道を走って寺へ到着する。夜風が吹く中、長老は杖をついて出迎えて下さる。満八十九才で顔つやもよく、御元気そうである。六年前、やはりこのフォーラムで訪れた時、初めて出会い、法名を聞いて妙心寺開山無相大師と同じ名だと云ったら恐縮しておられたが、変らぬ風貌である。今回、福建省の信者の寄進で建立された新築の客殿で挨拶後、新築の三聖閣へ案内して下さった。明日落慶式なので三尊佛は赤い布で尊顔はおおわれていたが、堂内で五百名の僧の授戒会が終るところであった。一同参拝して退出後、堂内は静まりかえっていて、坐のみが数多く敷かれてある。堂外に出て歩き乍ら、長老云く広間百二十五米、奥行百二十米の大きさに一周したら五百米かなと笑い乍ら話して下さった。如何にも広大な伽藍である。更に、その奥に図書館、仏学院等を建立中との事である。一巡後、堂を下ると明日の式典の椅子が整然と数多く並べてあり、階段を下ってやっと地上までた

どりつく。明日からのフォーラムでの再会を約して案内の労を謝し、別れてホテルに九時前歸る。

翌二十三日、午後一時半出発。拈花湾へ。多くのボランティアの人々が各々の部署に立って迎えてくださる。会場に到着。中央に石碑があり、「同愿林」と記してあるその前で除幕開会式が行われる。懐かしい古き友人達が集って来た。学誠中国佛教协会会长、蒋中国国家宗教事务局副局长、明生副会长、聖輝法師、台湾圓宗中国仏教会会長、無相長老、パロップWFB事務総長等一緒に最前列に並び、その他多くの知人と開会を待つ。

定刻、開会が宣せられて、無相長老の挨拶後、除幕、そして来賓の紹介後、植樹となり、



蔣局長、パロップ氏と共にイチョウの木を植樹する。終って、二、三のメディアの質問をうけて現場を退出し、バスにてホテル歸る。太湖の景色が大変にすばらしい。四時すぎより、ホテル内にて学誠会長、劉威秘書長、張琳副秘書長等の中国側との会見がある。日本側は持田宗懇会長、小柄、和多全日佛国際部長、阿含宗代表

等。最初に学誠会長の歓迎とフォーラムの目的等の挨拶があり、持田会長の答礼後、記念品、写経本の贈呈がある。小柄からは別紙フォーラムへの偈を渡す。記念撮影後散会、後夕食をとり明日の支度をする。

二十四日。五時起床、朝食後、七時三十分出発。会場の靈山梵宮へ八時前着。六年前来た時驚いたベルサイユ宮殿の如き広大な美事な建物へ。階段を重ねて上り、中に入り、更に会場へと進む。大勢の人で堂内は一杯である。指定場所を探すだけで時間がかかる。八時半定刻通り開会、外国の来賓

の紹介よりはじまり、壇上スクリーンには中国僧、タイ僧、チベット僧が約三百人並び、今回のテーマソングの紹介がある。中央スクリーンには釈迦牟尼が映し出され、仏教東漸の過程が映像で説明される。

今回のテーマは同愿同行、交流互鑑で世界四十ヶ国より海外



の仏教徒が約千人集り、中国国内の僧を加えれば四、五千人の多くの人々が参集す。仏教を象徴する蓮華を持った来賓が中央ステージに上り、政府代表者、学誠会長等約十名、蓮華に点灯し、開会を告げる。続いて兪正声全国政治協商会議主席の仏教がこれまで中国国内、国外に対して貢献したことは多大であり、未来に向けて世界平和と文明進歩の為に貢献して、仏教のすばらしさを持って、世界の発展の為、手をたずさえて美しい未来を作り上げて欲しいとの由の祝辞を王安作局長が読み上げ、来賓の祝辞に引続き学誠会長の挨拶等ありてその後、カナダ、カンボジア、ネパールの首相、国王、大統領の祝辞代読、国連事務総長の代読、十時終了。引続き各国十名の代表の挨拶があつて十一時すぎ終了。十二時半より千僧供養が一時まで、終り、車に乗り一路上海へ三時半到着。出国手続無事終える。湯副局長挨拶に来て、見送り。李さんと別れてゲートへ四時となり喫茶、五時廿分搭乗、六時前出発、九時十分名古屋着。無事歸国する。

第四回世界佛教フォーラム

十月二十四日

世界佛徒心事通

論空語理法懂隆

天然面目看如是

浪動太湖揺竹風